

- ・一枚のシートで、楽しめるように作成したい思いもある。サイコロや駒はシートから切り取って作成し、アイテムなどは、実際にその場所にある物から探し出してくるなどの実践型の工夫も楽しいと考えている。

*今後の集いにて、内容を決めていく。

③マイタイムラインを使った学習会

⇒マイタイムライン資料配布！

- ・作成見本をもとに、地域や生活にあわせた内容で、作ってみよう。

*持ち寄って意見交換するなど、今後の取り組みに入れていく。

(3) その他

*オブザーバー（会長）より

- ・近隣の火災で、被災された住民の受け入れに苦慮する事態を見た時、地震や豪雨だけではなく、火災時にも受け入れ体制を作る必要があると考えている。近隣センターは時間外の受け入れは難しく、地域公民館の利用や地域で助け合える体制を作る必要がある。そのためには、自治体の在り方が大きい、その自治体からの脱退（高齢化や個人の考え方の変化に伴い、地域活動が難しい現状）や加入者の減少もあり、どのように活性化させていけばよいか考えていきたい。
- ・次世代を担う子ども達の為に、地域協力の大切さや災害時に必要なことなどを発信する活動が必要である。今日の講義など、広めていくことはできないか。ジョイナスの活動としても伝えていけるのではないか。私も持っている知識を話す機会をもっと作りたいと考えている。ジョイナスも学校との接点をつくり活動して欲しい。

⇒自身で判断ができる年齢（中学生や小学校高学年など）を対象に、今回の講話や実際に防災トイレを作ってみる等の体験は、学びとなる。

*オブザーバー（大木戸町会）より

- ・講話を聴いて、自身の体験から関連するものの中に、登山がある。水の確保、トイレ問題、雨対策…、中でも雨は、雨にうたれて体が濡れてしまうと、体温が奪われ、時に命を奪う危険がある。防水効果のある雨具はとても有効。また、ポータブル電源を準備しておくことで、情報を受け取る携帯や灯の確保が出来るので大切な物と考えている。ソーラーパネルがあると、充電には時間を要するが、継続的な使用ができ有効である。
- ・情報収集には、東京防災アプリやNERV防災アプリを活用している。NERV防災アプリは、震度1の地震情報も即時に配信され、情報収集しやすい。

*柏市総務部防災安全課より提供、配布

- ・親子で読む防災絵本「おぼえておこうね みをまもる たいせつなこと」
- ・子育て家庭のための「防災ハンドブック」
- ・いのちをつなぐ「防災ノート」小学生版